

検 第 313号
平成18年 9月 4日

茨城県建設産業団体連合会長 殿

茨城県土木部検査指導課長

リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（通知）

このことについて、平成18年8月24日付け事務連絡にて別紙のとおり国土交通省より通知がありましたので、貴会におかれましても周知願います。

事 務 連 絡
平成18年 8月24日

茨城県
土木部 検査指導課長 殿

総合政策局 建設施工企画課
企画専門官 宮石 晶史

大臣官房 技術調査課
課長補佐 田中 貢

リコールの届け出に伴う建設機械の事故防止について（7月分）

今般、国土交通省に対し、下記のリコールの届出がなされたところであるが、建設作業現場における事故防止の観点から当該建設機械の使用について、関係業団体を通じて会員各社に対し周知を図ったところである。

については、貴機関管内の市町村及び貴機関で発注されている工事においても事故防止にあたっては参考とされたい。

記

- | | |
|--------------|--------|
| 1. 届 出 日 | 別紙のとおり |
| 2. 届 出 者 | 〃 |
| 3. 建 設 機 械 名 | 〃 |
| 4. 通 称 名 | 〃 |
| 5. 型 式 | 〃 |
| 6. 不具合の部位 | 〃 |
| 7. 内 容 | 〃 |

※国土交通省のホームページに「リコール・改善対策の届け出」があったものを掲載しております。
アドレスは下記のとおりです。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/recall/recall106/recall_.html

建設機械に係わるリコール届出一覧 (期間:平成18年7月分)

番号	届出日	届出者	建設機械名	通称名	型式	不具合の部位	リコール対象台数
1	平成18年7月7日	三菱重工株式会社	フォークリフト	三菱フォークリフト	F13F、SB-F14E、F17D、SB-F18C、KF4C	走行装置(リヤアックスル)	64台
2	平成18年7月12日	日産自動車株式会社	フォークリフト	ニッサンフォークリフト	NL01、NQL01、NL02、NTL02、LPL02、SB-LYL02、PL02、UL02、UGL02、YL02、SB-YL02、YGL02	動力伝達装置(トルクコンバーター式変速機)	129台
3	平成18年7月12日	三菱重工株式会社	フォークリフト	三菱フォークリフト	KF2D、SA-KF3C、KF4C、SA-KF6B、F13F、SB-F14E、SA-F16D、F17D、SB-F18C、F25C、F34、F35、SB-F37	動力伝達装置(トルクコンバーター式変速機)	331台
4	平成18年7月20日	新キヤタピラー三菱株式会社	ロードローラ	CB-334D、CB-335D	3JZ、5PZ	車台(屈折機手部)	140台
5	平成18年7月24日	株式会社タダノ	クレーン用台車	RTF600-7	不明	制動装置(エアタンクブラケット)	33台

※詳細は別添の「リコール届出一覧表」を参照して下さい。

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室

TEL:03-5253-8111 内線 42353

アドレス <http://www.mlit.go.jp>

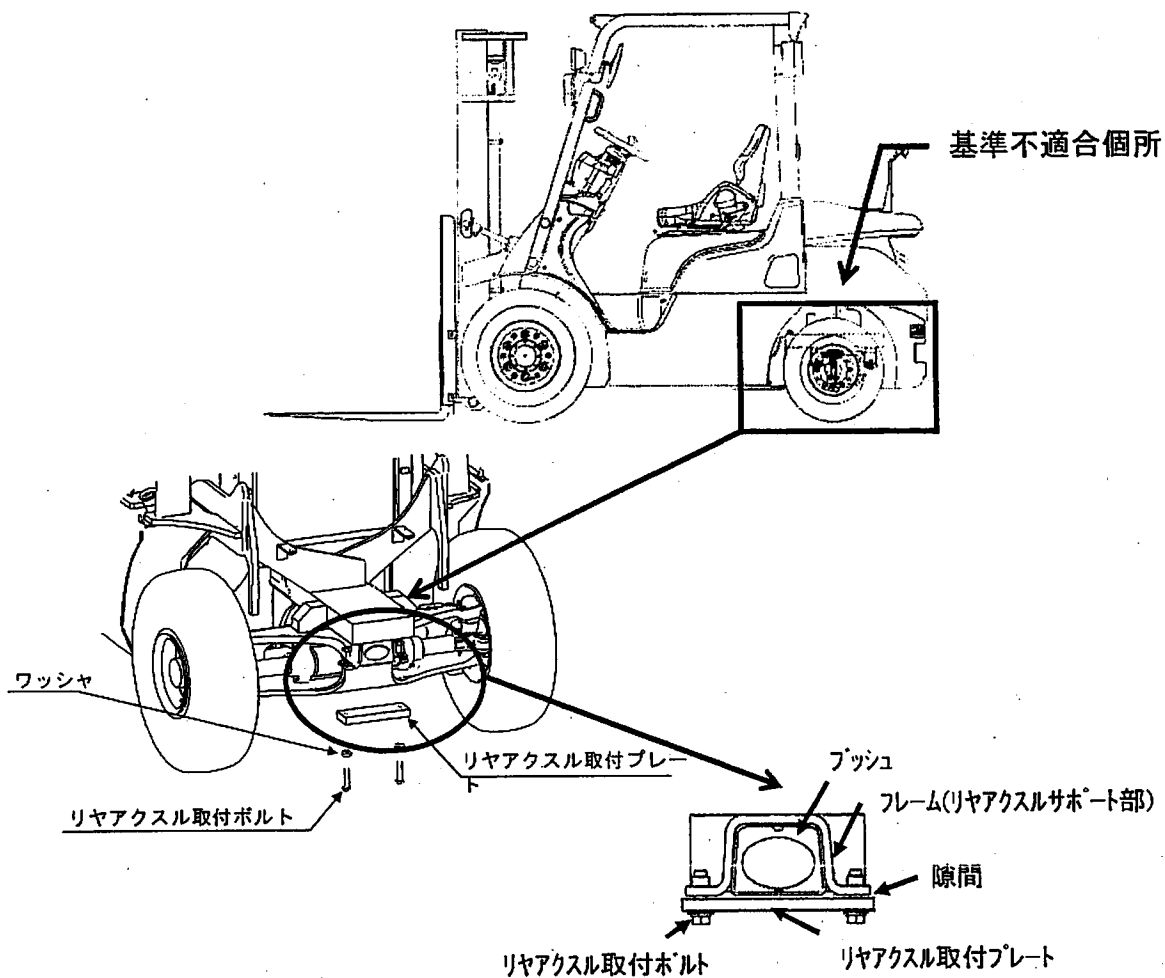
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 18年 7月 6日

リコール届出番号	1695	リコール開始日	平成 18年 7月 7日
届出者の氏名又は名称	三菱重工業株式会社 代表取締役 佃 和夫 問い合わせ先 : 三菱重工業株式会社 汎用機・特車事業本部 部品・サービス部 産業車両サービス課 TEL (042)761-7358		
不具合の部位(部品名)	走行装置(リヤアクスル)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	リヤアクスルにおいて、フレームのアクスルサポート部の加工が不適切なため、ブッシュが適正に組み付けられず、フレームとアクスル取付プレートの間に隙間が生じているものがある。そのため、そのまま使用を続けた場合、フレームとプレートを締結するボルトの締付トルクが低下し取付ボルトが緩み、プレートが脱落し、最悪の場合、フレームからリヤアクスルが外れ、走行不能に至るおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、当該部の隙間有無とボルト締付トルクを点検し、隙間が発生する場合は、シムを適宜枚数挿入して隙間が発生しないように措置する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	製造工程からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール又は直接訪問等で通知する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので周知のための措置はとらない。 ・対策実施済み車には、ダッシュボード前面の銘板横にステッカー(No.1695)を貼付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	F13F	三菱 フォークリフト	F13F-30326~F13F-58044 平成17年8月4日~平成17年9月28日	10	
	SB-F14E		F14E-31842~F14E-50436 平成17年9月12日~平成17年12月5日	6	
	F17D		F17D-00459~F17D-99545 平成17年8月4日~平成17年11月4日	28	
	SB-F18C		F18C-01009~F18C-99538 平成17年8月5日~平成17年12月13日	19	
	KF4C		KF4C-55029 平成17年8月12日	1	
	(計5型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成17年8月4日~平成17年12月13日	(計64台)	

改善箇所説明図



不具合発生箇所

リアアクスルにおいて、フレームのアクスルサポート部の加工が不適切なため、ブッシュが適正に組み付けされず、フレームとアクスル取付プレートの間隙が生じているものがある。そのため、そのまま使用を続けた場合、フレームとプレートを締結するボルトの締付トルクが低下し取付ボルトが緩み、プレートが脱落し、最悪の場合、フレームからリアアクスルが外れ、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、当該部の隙間有無とボルト締付トルクを点検し、隙間が発生する場合は、シムを適宜枚数挿入して隙間が発生しないように措置する。

識別: リアアクスル取付プレートに、白ペイントを塗布する。

(リコール対象車の主要諸元)

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
三菱	KF4C	三菱 フォークリフト	小型特殊・-	フォーク・リフト	ニッサンK15(1,486)	
	F13F		大型特殊・-		ニッサンK25(2,488)	
	SB-F14E		大型特殊・-		三菱S4S(3,331)	
	F17D		大型特殊・-		ニッサンK21(2,065)	
	SB-F18C		大型特殊・-		三菱S4S(3,331)	

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 フォン : http://www.mlit.go.jp

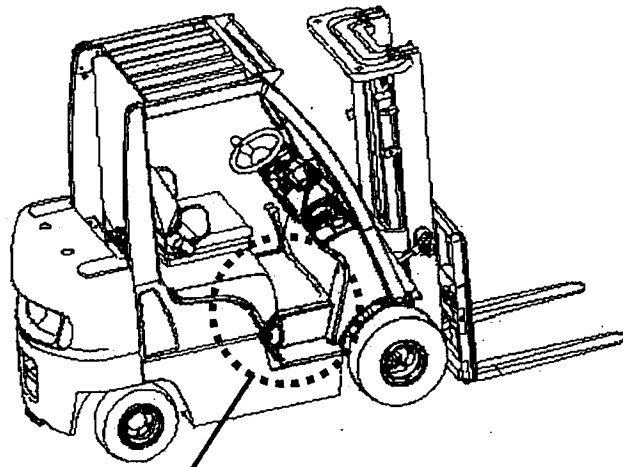
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成18年7月11日

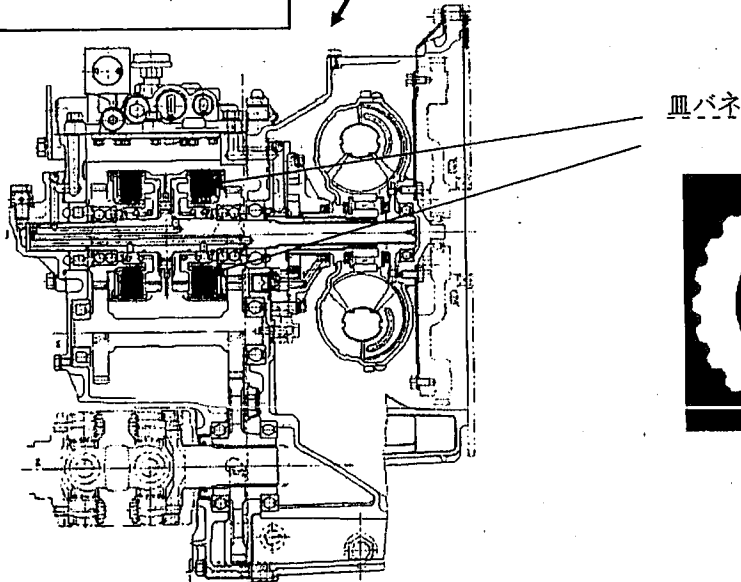
リコール届出番号	1693	リコール開始日	平成18年7月12日
届出者の氏名又は名称	日産自動車株式会社 取締役社長 カルロス ゴーン 問い合わせ先: 産業機械事業部 技術部品質保証課 TEL 046-252-3294		
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(トルクコンバータ式変速機)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	トルクコンバータ式変速機において、前後進切替操作時のショックを軽減させる皿バネの強度が不足しているものがある。そのため、前後進切替操作を頻繁に行うと、当該バネが破損し、そのまま使用を続けると、破損したバネ小片がクラッチギヤとドラムの間に噛み込み、最悪の場合、ニュートラル状態で車両が動き出すおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、トルクコンバータ式変速機を対策品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:直接訪問、或いは電話により通知する。 ・分解整備事業者:全ユーザーが特定されている為、周知の処置はとらない。 ・改善実施済車には、インストパネル右側にNo.1693のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ニッサン	NL01	ニッサン フォークリフト	NL01-000004~NL01-000843 平成15年7月10日~平成17年2月25日	84	
	NQL01		NQL01-000004~NQL01-000023 平成15年9月4日~平成16年6月22日	3	
	NL02		NL02-000004~NL02-000068 平成15年9月26日~平成16年12月16日	4	
	NTL02		NTL02-000004 平成15年12月24日	1	
	LPL02		LPL02-001010~LPL02-001024 平成16年8月16日~平成17年2月16日	4	
	SB-LYL02		LYL02-001023~LYL02-001034 平成16年10月4日~平成17年2月15日	3	
	PL02		PL02-000745~PL02-001256 平成16年2月6日~平成16年6月21日	3	
	UL02		UL02-000185 平成16年4月2日	1	
	UGL02		UGL02-000093~UGL02-000531 平成15年9月15日~平成16年11月19日	8	
	YL02 SB-YL02		YL02-000098~YL02-001717 平成15年8月19日~平成16年10月20日	10	
	YGL02		YGL02-000038~YGL02-000768 平成15年7月31日~平成16年7月29日	8	
	(計12型式)		(1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年7月10日~平成17年2月25日	

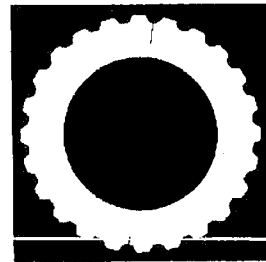
改善箇所説明図



トルクコンバータ式変速機



皿バネ



基準不適合発生箇所

トルクコンバータ式変速機において、前後進切替操作時のショックを軽減させる皿バネの強度が不足しているものがある。そのため、前後進切替操作を頻繁に行うと、当該バネが破損し、そのまま使用を続けると、破損したバネ小片がクラッチギヤとドラムの間に噛み込み、最悪の場合、ニュートラル状態で車両が動き出すおそれがある。

改善内容

全車両、トルクコンバータ式変速機を対策品と交換する。

識別

変速機の表面に、白ペイントを塗布する。

注： は、交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考	
ニッサン	NL01	ニッサン フォークリフト	小型特殊・-	フォークリフト	K15 (1, 486)		
	NQL01				三菱S4L (1, 500)		
	NL02				K15 (1, 486)		
	NTL02				三菱S4L (1, 500)		
	LPL02				K21 (2, 065)		
	SB-LYL02				三菱S4S (3, 331)		
	PL02				大型特殊・-		K21 (2, 065)
	UL02				K25 (2, 488)		
	UGL02						
	YL02 SB-YL02 YGL02		三菱S4S (3, 331)				

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42353
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

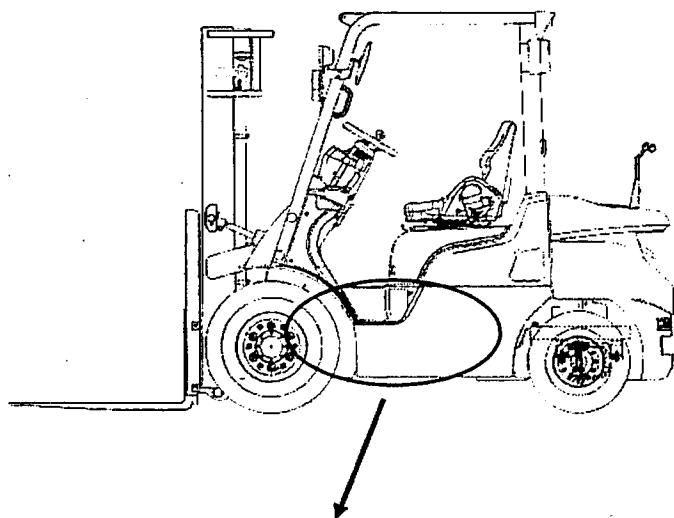
リコール届出一覧表 リコール届出日:平成 18年 7月 11日

リコール届出番号	1694	リコール開始日	平成 18年 7月 12日
届出者の氏名又は名称	三菱重工業株式会社 問い合わせ先:三菱重工業株式会社 代表取締役 佃 和夫 汎用機・特車事業本部 部品・サービス部 産業車両サービス課 TEL (042)761-7358		
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(トルクコンバータ式変速機)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	トルクコンバータ式変速機において、前後進切替操作時のショックを軽減させる皿パネの強度が不足しているものがある。そのため、前後進切替操作を頻繁に行うと、当該パネが破損し、そのまま使用を続けると、破損したパネ小片がクラッチギヤとドラムの間に噛み込み、最悪の場合、ニュートラル状態で車両が動き出すおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、トルクコンバータ式変速機を対策品と交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。(構内作業専用車)		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール又は直接訪問等で通知する。 ・自動車分解整備事業者への連絡は、使用者を全て把握しているので周知のための措置はとらない。 ・対策実施済み車には、ダッシュボード前面の銘板横にステッカー(No.1694)を貼付ける。 		

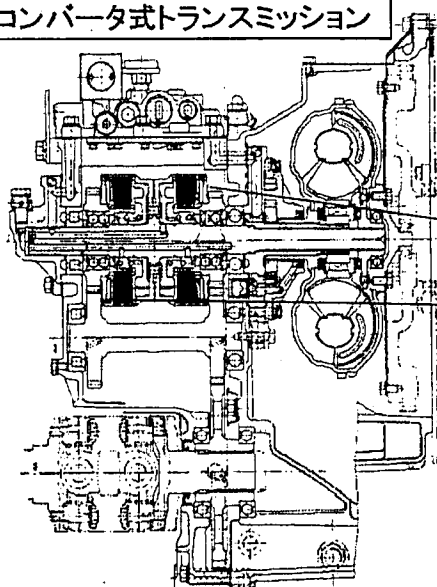
車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	KF2D	三菱 フォークリフト	KF2D-00015~KF2D-90004 平成15年7月28日~平成17年4月18日	121	
	SA-KF3C		KF3C-50002~KF3C-70004 平成15年7月29日~平成16年9月30日	13	
	KF4C		KF4C-05019~KF4C-55033 平成15年8月8日~平成17年8月10日	16	
	SA-KF6B		KF6B-05013~KF6B-55027 平成15年8月6日~平成16年11月2日	15	
	F13F		F13F-30033~F13F-58025 平成15年9月10日~平成17年1月14日	17	
	SB-F14E		F14E-30116~F14E-50262 平成15年9月3日~平成17年1月7日	21	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
三菱	SA-F16D	三菱 フォークリフト	F16D-50337～F16D-99501 平成16年3月31日～平成17年1月31日	4	
	F17D		F17D-00048～F17D-99501 平成15年7月26日～平成17年3月18日	17	
	SB-F18C		F18C-00027～F18C-99504 平成15年7月10日～平成17年1月25日	70	
	F25C		F25C-00044～F25C-70059 平成15年8月6日～平成16年9月16日	11	
	F34		F34-50023～F34-50134 平成15年7月22日～平成16年12月3日	6	
	F35		F35-00012～F35-50267 平成15年8月25日～平成16年10月25日	19	
	SB-F37		F37-00020 平成15年10月31日	1	
	(計13型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年7月10日～平成17年8月10日	(計331台)	

改善箇所説明図



トルクコンバータ式トランスミッション



皿バネ




不具合発生箇所

トルクコンバータ式変速機において、前後進切替操作時のショックを軽減させる皿バネの強度が不足しているものがある。そのため、前後進切替操作を頻繁に行うと、当該バネが破損し、そのまま使用を続けると、破損したバネ小片がクラッチギヤとドラムの上に噛み込み、最悪の場合、ニュートラル状態で車両が動き出すおそれがある。

改善の内容

全車両、トルクコンバータ式変速機を対策品と交換する。

 は交換部品を示す。

識別: トランスミッションのシリアル番号付近に、白ペイントを塗布する。

(リコール対象車の主要諸元)

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(cc))	備考
三菱	KF2D	三菱 フォークリフト	小型特殊・-	フォークリフト	ニッサンK15(1,486)	
	SA-KF3C		小型特殊・-		三菱S4L(1,500)	
	KF4C		小型特殊・-		ニッサンK15(1,486)	
	SA-KF6B		小型特殊・-		三菱S4L(1,500)	
	F13F		大型特殊・-		ニッサンK25(2,488)	
	SB-F14E		大型特殊・-		三菱S4S(3,331)	
	SA-F16D		大型特殊・-		三菱S4Q2(2,505)	
	F17D		小型特殊・- 大型特殊・-		ニッサンK21(2,065)	
	SB-F18C		小型特殊・- 大型特殊・-		三菱S4S(3,331)	
	F25C		大型特殊・-		ニッサンK15(1,486)	
	F34		大型特殊・-		ニッサンK21(2,065)	
	F35		大型特殊・-		ニッサンK25(2,488)	
SB-F37	大型特殊・-	三菱S4S(3,331)				

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42353
 アドレス:http://www.mlit.go.jp

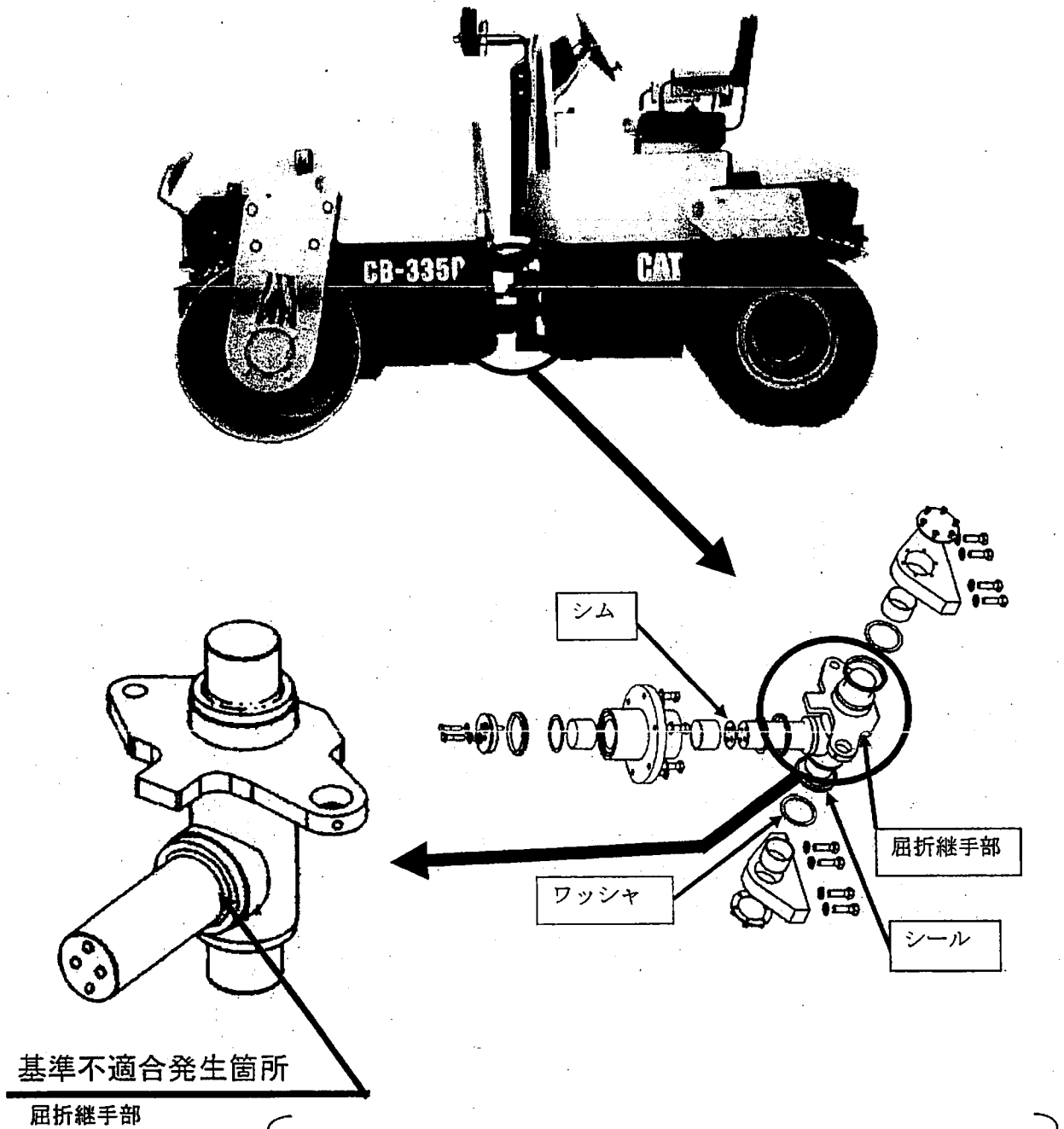
リコール届出一覧表

リコール届出日:平成18年07月20日

リコール届出番号	1697	リコール開始日	平成18年07月20日
届出者の氏名又は名称	新キャタピラー三菱株式会社 代表取締役 広瀬 正典 (製作国:フランス 製作者名:Caterpillar Inc 問合せ先:明石加ター株式会社 TEL:078(943)2125)		
不具合部位(部品名)	車台(屈折継手部)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	車台を屈折させ操向するロードローラにおいて、フロントフレームとリヤフレームの屈折継手部の強度が不足しているものがあり、そのままの状態で使用を続けると当該継手部に亀裂が発生し、最悪の場合、亀裂が進行し継手部が折損して、走行できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、屈折継手部を対策品と交換する。		
不具合件数	5 件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール若しくは電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:使用者を全て把握しているので、周知させるための措置はとらない。 ・改善処置済み車両には、運転操作ボックス右側面下部にNo.1697のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
キャタピラー	3JZ	CB-334D	3JZ00189~3JZ00240 平成11年05月31日~平成16年07月09日	14台	
	5PZ	CB-335D	5PZ00272~5PZ00537 平成11年04月14日~平成14年11月15日	126台	
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間全体の範囲) 平成11年04月14日~平成16年07月09日	(140台)	

— 改善箇所説明図 —



車台を屈折させ操向するロードローラにおいて、フロントフレームとリヤフレームの屈折継手部の強度が不足しているものがあり、そのままの状態で使用を続けると当該継手部に亀裂が発生し、最悪の場合、亀裂が進行し継手部が折損して、走行できなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、屈折継手部を対策品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別： 対策済み車両には、屈折継手部取付けボルトに白ペンキを塗布する。

－リコール対象車両の主要諸元－

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量(L))	備考
キャビラー	3JZ	CB-334D	小型特殊・ 建設機械	ロッドローラ	キャビラー 4ZW (1.496)	
キャビラー	5PZ	CB-335D	小型特殊・ 建設機械	ロッドローラ	キャビラー 4ZW (1.496)	

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL: 03-5253-8111 内線 42353
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

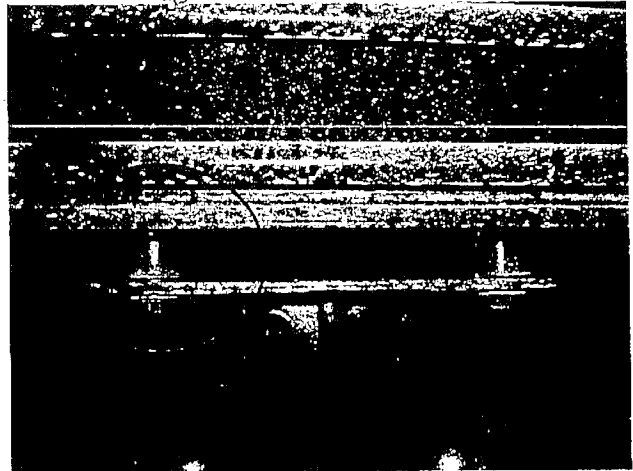
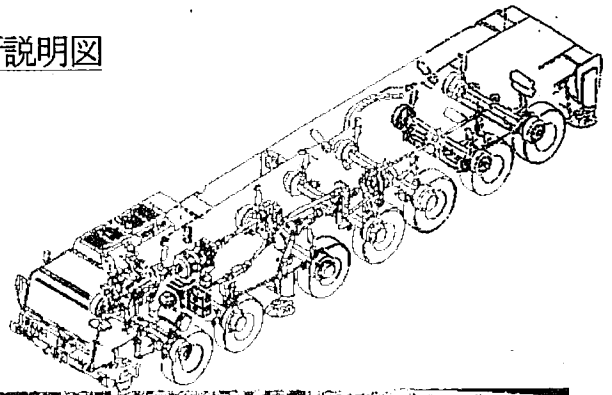
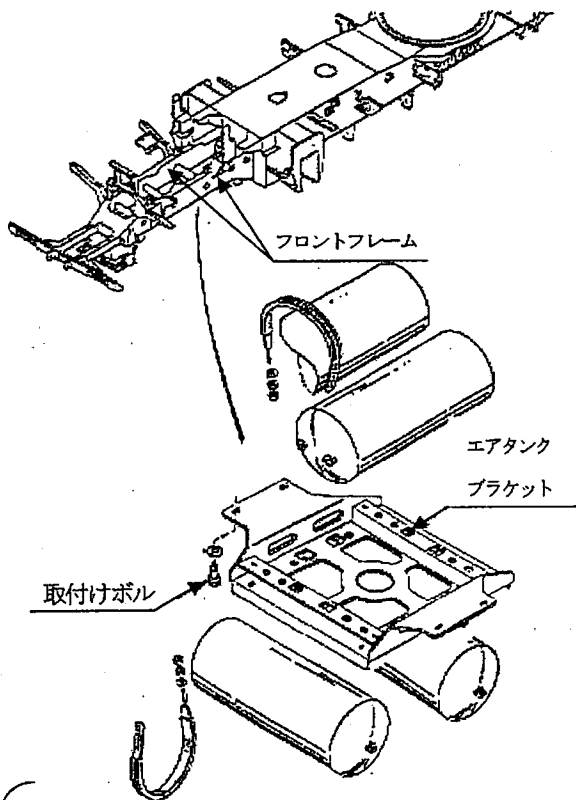
リコール届出一覧表

リコール届出日：平成18年7月21日

リコール届出番号	外-1330	リコール開始日	平成18年7月24日
届出者の氏名又は名称	株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一 (問い合わせ先：品質安全部 TEL (087) 894-7550)		
不具合の部位 (部品名)	制動装置 (エアタンクブラケット)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	空気式制動装置において、フロントフレームにエアタンクを取り付けるブラケットの構造が不適切なため、走行時のフレームの振れによりブラケットに歪が生じ、取付けボルトが緩むものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ボルトが外れ、最悪の場合、エアタンクが脱落してエアホースを損傷し、ブレーキが効かなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、エアタンクブラケットを改造しサポートを追加して防振ゴムを取付けフレームの振れを吸収するとともに、取付けボルトのサイズアップを行う。		
不具合件数	国内：4件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：使用者を直接訪問し通知する。 ・自動車分解整備事業者：全使用者を把握しているため、周知のための措置は取らない。 ・改善実施済車には、運転席ダッシュボード左側面にNo. 外-1330のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
FAUN	不明	RTF600-7	WFN7R1KN514080501~WFN7R1KN544080535 平成10年9月7日~平成18年5月9日	33台	
	計1型式	計1車種	(製作期間の全体の範囲) 平成10年9月7日~平成18年5月9日	計33台	

改善箇所説明図

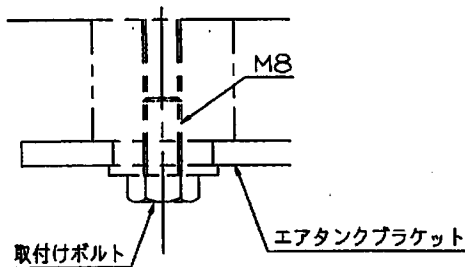


不適合発生箇所

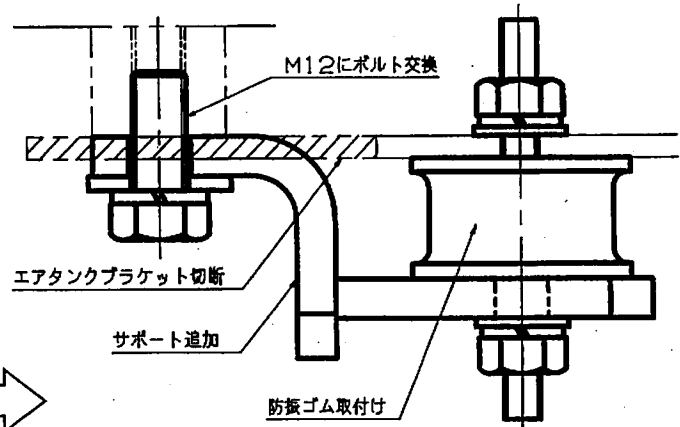
空気式制動装置において、フロントフレームにエアタンクを取り付けるブラケットの構造が不適切なため、走行時のフレームの振れによりブラケットに歪が生じ、取付けボルトが緩むものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ボルトが外れ、最悪の場合、エアタンクが脱落してエアホースを損傷し、ブレーキが効かなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、エアタンクブラケットを改造しサポートを追加して防振ゴムを取付けフレームの振れを吸収するとともに、取付けボルトのサイズアップを行う。



対策前



対策後

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 (総排気量 CC)	備考
FAUN	不明	RTF600-7	普通・特種	クレーン用台車	D.C 製 OM442LA 職権打刻 (14,618)	